

参議院議員・自由民主党 厚生労働委員会筆頭理事
石田まさひろ先生

医療福祉ジャーナリズム分野
博士課程3年 岩田真弓 看護師

看護師がずっと働き続けられる環境と学ぶ意欲を持ち続けられるための方策
～看護師に留学制度を提案します～

初めまして。シドニーで看護師をしている岩田と申します。石田先生も看護師と
のこと。今日はどんなお話を聞くことができるのか、政策的な事なのか、もっと現場寄
りのお話なのかと楽しみにしておりました。印象に残った事についてオーストラリアの考
え方も含めて書かせてください。

「定年なんてなくてもいいじゃないか、働きたい人は働く、若いうちは仕事だけじゃなく
てもやりたいことやってもいいじゃないか」

まさに、オーストラリア的に考えるとそうなんです。定年という概念がないです。私の
周りにも70過ぎて生き生きと働いている看護師さんはいます。50代、60代は若いとい
うイメージです。そしてその働き方が自由です。フルタイム・パートタイム・カジュアル
など週に1日でもOKです。（ちなみに私はカジュアルという働き方をしています。）

2015年のデータですが、看護師・助産師の5人に2人は50歳以上、平均年齢は44.4
歳です。（現在もさほど変わらないのではないのでしょうか？もしくはもっと平均年齢が高
くなっているかもしれません）元気で働きたい人は週に1日でも働けるとい、自分のラ
イフスタイルに合わせて仕事をすることができます。これは素晴らしいと思います。

60になったから退職、若いうちはフルタイムで働きましょう、という固定概念があり
ません。そして、オーストラリアのワークコンディションは日本と比較すると天国です
（笑）。有給休暇はしっかり年間6週間（持ち越しできます）旅行に行ったり、母国へ帰
ったりできます。以前私がワークライフバランスの話をした時に、オージーたちは
「???何それ」という感じで、ワークライフバランスなんてわざわざ言わなくても当
たり前でしょ、という反応でした。

日本も看護師たちがもっと働きやすい環境になっていけば、バーンアウトせずに看護師
という仕事をずっと継続していけるのにな~と思っています。留学で来ている日本人看護
師さんの多くは、キャリアアップのためというよりはバーンアウトというお話を聞きます。

About 2 in 5 nurses and midwives were aged 50 and over in 2015 (39.0%). Their
average age was 44.4 years

引用 : Nursing and Midwifery workforce 2015

<https://www.aihw.gov.au/reports/workforce/nursing-and-midwifery-workforce-2015/contents/who-are-nurses-and-midwives>

石田先生、私から一つ提案があります。日本の看護師さんたちに「留学サポート」みたいな制度できないかな？ということです。既に一般企業などでは留学のために休暇（1年とか長期で）を許可しているところもあると聞きました。こちらで出会った方に2年の留学を認められて来ている方もいました。

なぜ私がこういう提案をしたと思ったのか、それは日本の在留及び訪日外国人数が右肩上がり年々上昇しているからです（現在はコロナの影響がありますが）。外国人が日本の病院を訪れることは必然的に増えるでしょうし、看護師たちが外国人をケアする場面が増えるということです。つまり、日本の看護師たちは文化的背景を考慮した看護の提供が必須になってくるからです。

しかし、残念なことに大学在学中に1年留学することは看護学部では難しいです。（他学部では休学すればできますね。（私の甥っ子も大学3年目を休学しオーストラリアにやってきました）

では働き始めたらどうでしょうか？これまた、まとまったお休みを取ることもなかなか厳しいのではないのでしょうか？そこで、1年間ワーホリ制度や学生ビザを利用して異文化体験として病院が認める制度があれば海を越えてみたいという看護師さんはきっといると思います。ただ行くのではなく、事前に1年間の自分の留学プランを立て、どの国で何を学ぶために留学制度を利用したいのか？そして日本帰国後はその体験をほかの人達とシェアする機会を持つ、みたいな課題も必要だと思います。

そういう制度があると、病棟や病院に新しい風が吹いて、何かが変わるような気がします。例えば、3年頑張ったら、4年目から留学制度使えますよ（使いたい人は）。とかあると、私なら嬉しいかもしれません。（人数制限は必要ですね、看護師も不足してるでしょうし、オーストラリアのように病院にカジュアルスタッフをキープできる制度もありませんから）看護師たちのモチベーションにもなるし、インセンティブにもつながる気がします。離職率に貢献できるかもという期待値も含め、提案いたします（笑）。

長くなりましたが、石田先生、日本の看護に新しい風を是非お願いいたします。